

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年(2019年)3月29日

上田地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	7	課題区分	C		
実施機関	上田地域振興局		担当課	所属 商工観光課 振興係	
事業名	上田地域の特色を活かした 体験型・滞在型ツーリズムの推進		電話	0268-25-7140(直通)	
			E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	高原・温泉等の観光資源、またその中で湯治・スポーツ合宿等が盛んに営まれてきた歴史的経緯・環境を最大限に活かし、旅をきっかけに心身がリフレッシュし、健やかになれる体験型(滞在型・周遊型)観光コンテンツの充実を図り、地域づくりに活かす。			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成3年をピークに観光地利用者数、観光消費額とも全体的に低迷傾向が続く。</li> <li>・平成28年NHK大河ドラマ「真田丸」放送の効果により利用者数は過去最高、消費額も近年にない伸びを見せたが、翌29年は再び減少に。</li> <li>・日帰客が多く、宿泊客が少ない点は、全県的な傾向とはいえ更に顕著であり、また、県内客より県外客が多いという特性も全県と同じではあるものの、県外客が占める構成比を見ると県平均より10ポイント以上低い(H28統計)。</li> <li>・上田地域の豊富で魅力的な観光資源やそれを活かした関係者の取組が、観光客数や消費へとまだ十分に結びつけられていない可能性あり。</li> <li>・「真田丸」効果で増えた観光客に向け、再度、上田地域に足を運んでもらうとともに、新たな信州・上田ファン(誘客)を増やすため、地域の強みを活かした地域一丸の取組、観光コンテンツの充実が急務。</li> <li>・誘客数だけでなく、消費額を伸ばし、地域が潤うことで観光を通じた地域づくりを促進させるための取組として、特に宿泊を中心とした「滞在型」、地域内を巡る「周遊型」メニューの強化が必要。</li> </ul>			
	内容 (変更後の内容)	<p>本来、健康増進に係る医学的・科学的見地を重視した定義付けがなされている「ヘルスツーリズム」の概念をもう少し広く捉え、旅(観光)を通じて心身ともに以前より元気になれるような各種メニューが充実した地域として、地域の個を更に磨き上げ、集約・連携・発信等を図ることで、地域一丸となった中長期的・継続的な取組に育てる。</p> <p>この取組の推進母体として、官民学協働の「上田地域型ヘルスツーリズム推進協議会(仮称)(以下、協議会)」を設置する。</p>			
	事業期間	平成30年8月		～	平成31年3月
	成果目標 (成果指標)	2ヶ月に1度(年度内4回)程度、協議会を開催し、地域や観光資源に特化したテーマを設け、会員相互により第三者目線からの検討・検証を実施し、施策化のヒントを探る。			
事業費	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	報償費	協議会長等への報償費	117,000		
	合 計		117,000		
事業実績・成果	事業の実績	事業の成果	評価		
	<p>事業の推進母体となる「信州上田地域 健康パーク(上田地域型ヘルスツーリズム)推進協議会」を立ち上げ、同協議会を年度内に4回開催。</p> <p>体験型・滞在型・周遊型観光コンテンツの充実を図るための、官民学協働による検討を進めた。</p> <p>第1回 平成30年8月31日(金) 合庁6階講堂 第2回 平成30年10月25日(木) 上田市鹿教湯温泉 第3回 平成30年12月17日(月) 上田市別所温泉 第4回 平成31年2月26日(火) 合庁6階講堂</p>	<p>毎回、管内の主要観光地に実際に赴いて、各地域の「健康×観光型」コンテンツを直に体験したり、外から目線でワークショップを行うなど、構成員間の連携を強固にすることができた。</p> <p>第4回の会議では鹿教湯温泉と別所温泉での議論を整理・検証し、本協議会としての具体的な取組事項を検討し、来年度以降の取組に繋げることができた。</p>	<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>		
今後の方向性	各回の企画充実を図り、本会に対する参加者のモチベーション維持に留意しながら、引き続き次年度も同じスタイルで年度内に6回(上田市菅平、東御市湯の丸、長和町、青木村、検証会議2回)の開催を目指す。各回提案から生まれた新規事業の具現化などにも取り組む。				